

クリニックレター 2022年8月

〒663-8113 西宮市甲子園口2-8-31 医療法人岐黄会西本クリニック

TEL:0798-65-5111 FAX:0798-65-5115 HP: <http://www.nishimotoclinic.jp/>

このクリニックレターは、西本クリニックから患者様への情報を、すばやく、わかりやすくお伝えするためのお手紙です。原則月1回の発行で、スタッフが皆さんに知っていただきたい事をビビッドに発信していきます。

漢方薬の名前の由来 (続き)

暑い日が続きますね。前回に続いて、漢方薬(方剤)の名前についてのお話を続けたいと思います。お薬の名前を聞いてだけで、あ、こんな薬か、というのあれば、いったい何に効くの?と思われるものもあるかと思えます。(ちなみに〇〇〇の〇〇番、というのは方剤名ではありません。念のため!)では思いつくままに・・・

A) もっとも直球勝負の命名法は、方剤に含まれる代表的な生薬の名前を付けたものです。生薬の効能を知っていれば、名前を見るだけでどんな効き目があるか想像できます。

麻黄湯(マウツウ): 麻黄は発汗・解熱・止咳作用がありますので、発熱して汗が出なくて咳のある風邪の時に使う薬だな、というイメージが湧いてきます。**麦門冬湯(バクドウツウ)**: 咽喉を潤し鎮咳作用のある麦門冬を主薬とし、慢性咳嗽に用いられます。**麻黄附子細辛湯(マウブシサイツウ)**: この処方麻黄と附子と細辛のみで構成されています。そのままですね。もっと長いになると、**桂姜棗草黄辛附湯(ケイショウサウソウシヤクブツウ)**なんて舌を噛みそうなものもあります。桂皮・生姜・大棗・甘草・麻黄・細辛・附子とこれも生薬名の羅列です。このようなネーミングの処方、傷寒論(ヨウカンロン)、金匱要略(キンギョウリョク)など、今から二千年近く前の書物に記載されているものが多いようです。

B) 次にわかりやすい命名法として、漢方薬の効能をあらわすものがあります。**補中益気湯(ホチュウエキツウ)**: 「中」とは中焦(チウキョウ)つまり、胃腸の事です。胃腸を補い気(=エネルギー)を増やしてくれる。いかにも元気が出そうな名前です。**抑肝散(ヨクカンサン)**: 東洋医学的には、「肝」には気の流れを順調にする作用がありますが、この肝の働きが異常になるとするとイライラしたり怒りっぽくなったりします。そこで、肝を抑える薬、という意味で抑肝散です。また、「肝の流れを疎通させる」という意味で**疎肝散(ソカンサン)**という処方もあります。**分心気飲(ブンシンキイン)**: 「一切の気の病を治す」とある処方ですが、心気(こころ)が混線しているのを整理する、という意味でしょうか。

単純そのもの、というネーミングとしては**治打撲一方(チウダツクヒツウ)**、**治頭瘡一方(チウツウソウヒツウ)**なんてのがありますが、これは説明しなくても分かりますね。他に印象的な名前としては、脳卒中の後の痺れやマヒなどに用いる**續命湯(ジクメイツウ)**、一切の下痢を治すという**断痢湯(ダンリツウ)**なども思わず、「おっ、効きそうだな」と思わせるようなセンスのいい名前です。



一面のひまわり畑。ひまわりはウクライナの国花です。

C) よくあるのが、方剤の名前の頭に数字が記されたものです。

二陳湯(ニチンツウ): 嘔吐を改善したり胃の調子をよくする作用がありますが、中に含まれる半夏(ハンゲ)と陳皮(チンピ)は久陳(古い)なるものがよい、とされているのでこの名前が付けました。**三黃瀉心湯(サンワウシャシンツウ)**: 大黃・黄芩・黄連と“黄”の字がつく三つの生薬から構成されています。**四君子湯(シクンシツウ)**・**六君子湯(リククンシツウ)**: どちらも胃腸の働きをよくするお薬ですが、含まれる生薬は、いずれも体をあたため甘みがあり、君子の徳に似ているところからこの名前が付けられたと言われています。

“四”がつく方剤には、他に、**四逆散(シギャクサン)**、**四逆湯(シギャクツウ)**、**四物湯(シモツウ)**などがあり、なんとなく似ているようですが、作用は全く異なっています。数が多いものとしては、**九味檳榔湯(クミビョウツウ)**、更には16種の生薬が入っている**十六味流気飲(ジュウロクミツウ)**なんてのもありました。

D) あと、**大柴胡湯(ダイサイコツウ)**と**小柴胡湯(ショサイコツウ)**、**大青竜湯(ダイセイリョウツウ)**と**小青竜湯(ショセイリョウツウ)**、**大承気湯(ダイジョウキツウ)**と**小承気湯(ショジョウキツウ)**のように、大と小のペア(多くは“大”のほうが強い作用を持つ)もあります。

E) 最後に、ちょっとミステリアスな方剤名をご紹介します。

女神散(ニョシンサン): 女性の神経症や不定愁訴に用いる処方ですが、イライラや強い頭痛を改善します。飲んだ人が女神さまのように優しくなる・・・のでしょうか・・・**神秘湯(シヒツウ)**: 主に気管支喘息による喘鳴・咳嗽に用います。昔の人はその効き目に神秘を感じたのでしょうか。

さて、処方名に関する面白いお話はまだまだいくらでもあるのですが、全部ご紹介すると持ちネタがなくなってしまうので、今回はこのへんで。

新型コロナウイルス感染症が7月以降、急激な広がりを見せています。(第七波)

これに対して、現在、60歳以上の方及び医療従事者に対して4回目のワクチン接種が進んでいます。残念ながら4回目に関しては感染予防効果はあまり期待できないようですが、重症化予防という点では、特に高齢者の接種は有効かと思えます。

また、もしまだ3回目のワクチン接種が済んでおられない方は、ぜひ、接種を受けていただければと思います。このまま、自然免疫が広がって、安心して暮らせる日々が早く訪れることを祈るばかりです。

休診・診察医師変更のお知らせ

8月13日(土)、15日(月)、9月20日(火)、24日(土)を休診とさせていただきます。

*8月16日(火)は水野 Dr のみ、9月22日(木)は院長診のみ休診

その他の変更は下記のとおりです。

9月16日(金)浅井 Dr 診察、22日(木)藤田 Dr 診察

お車で来院される患者様へ

歩行者や近隣の方の迷惑になりますので、駐車場の指定されたスペース以外、及びクリニック周辺の道路には、駐車されないようお願いいたします。駐車中のアイドリングもおやめください。駐車場に空きがない場合は周辺のコインパーキングをご利用ください。